

令和5年1月6日(金)

災害時における無人航空機による 情報収集等に関する協定を締結しました

ドローンの操縦やライセンス取得ができる国土交通省 HP 掲載講習団体ドローンスクール&アグリワークスと「災害時における無人航空機による情報収集等に関する協定書」を締結しました。



この協定により、市内において大規模災害が発生または発生するおそれがある場合に、無人航空機(ドローン)を利用し、上空からその状況を把握・情報収集することで、被災状況の把握や二次被害の防止などが可能となります。

ドローンスクール&アグリワークス校長の片岡裕志氏は「鳥羽市の出身者として、このようなかたちでお役に立てることができ、うれしく思います。災害時にはしっかりと連携を取り、情報収集などに尽力し、また、災害時以外でも鳥羽市とさまざまなかたちで連携していけたら幸いです。」と語りました。中村市長は「今後発生が危惧されている南海トラフ地震や大雨による土砂災害などの災害発生時には、被災地域の状況を上空から効率かつ安全に把握することで、市民の不安軽減や早期復旧に繋がることを期待しており、今回の協定が締結できたことを大変心強く思います。」とお礼を述べました。